

※個人や企業が特定される部分、業務内容に関わる部分についてはCeFILで一部修正しています。

指導概要

	指導概要
1	<ul style="list-style-type: none"> 要件を作業アイテムに落とし込み、自主的に進捗管理できるようRedmine環境を準備した。 検討/試行した生産物は、動作説明書の作成を合わせて依頼し引継ぎを行った。 終了後も大学の研究で応用できるよう、共通的な環境の使い方含めて修得してもらった。
2	専任の指導員をアサインして不明点に対して重点的にフォローしました。
3	<ul style="list-style-type: none"> 実習対象の開発・デバッグスキル獲得 性能分析手法の習得 報告書の作成経験
4	毎日朝に、前日に完了したこと／本日起りこむこと／問題点を共有してもらい、トレーナからアドバイスすることで、モチベーションの維持を心がけた。また、技術的なサポートでは、専門性を有する別の社員との打ち合わせを調整するなどし、業務遂行が滞りしないよう図った。アドバイスのポイントとしては、やはり会社という組織での業務遂行ということで、成果・時間管理といったところを意識してもらった。
5	開発案件の一部機能の実装・テスト・機能改善提案を担当いただいた。IT技術に関するプレゼンテーションを聴講してもらった等、開発に関する技術を高められる講義も用意した。また、開発時の動きを振り返るために個別に業務アドバイザーを配置し、日次で自らの問題改善に取り組んでもらった。
6	新技術の評価を担当した。チュートリアルサンプルプログラムを提示し、それを自身で実装、問題点を調査した。さらに、多様なデータを使って、上記技術の動作を確認し、機能の確認評価を行った。
7	過去にインターンの指導員を実施したことがあるメンバーをアサインしました。デイリーの進捗確認とフォローだけでなく、マイルストーンを設けて各フェーズ毎に指導員とのレビューを実施してアドバイスをを行いました。
8	アドバイザーアサイン、タスクの整理および割り当て、タスクを一緒に遂行
9	当部の担当者が方式検討を行った技術に関し、方式検討を行った担当者の指導のもと、実装と検証を実施した。検証後に、報告書としてまとめて、プレゼンも実施した。
10	<ul style="list-style-type: none"> 各カリキュラムにおいて、それぞれ指導員を配置。 指導員とは別に、インターン全体の相談窓口としての人員も設置。 最終プレゼンにて、良い点、要改善点をアドバイス。
11	指導にあたって、実務同様に背景・目的を伝えたいと、目的を考えながら進めるよう指導しました。また、実務で重要になってくるエビデンスを残すことの大切さ、コミュニケーションの重要性、報告書は相手に何を伝えたいのかを意識するよう、指導とアドバイスをしてきました。
12	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、開始時と終了時のミーティング(今日やることの確認とやったことの振り返り) 随時アドバイス
13	指導員は、1名専任でアサインした。指示に対して、自分でどのようにしてよいかを考えていくような形で業務を進めた。また、その業務が終わった際に良かった点や見直しが必要な点などについてアドバイスを実施した。
14	<ul style="list-style-type: none"> 責任を持って対応する担当者をアサイン 各工程において、勘所や注意点などのコメント 各工程の生産物についてレビュー、理由も添えてコメント
15	<ul style="list-style-type: none"> 日々の終業時に、進捗状況の確認と翌日の作業内容の確認を行った。 お客様との打合せに同行してもらい、仕事の進め方や打合せの雰囲気などを知ってもらった。 ISMSの研修を行い、企業としての機密情報の保護についてを知ってもらった。
16	実開発で想定される機能の一部をインターンシップの題材として、実開発と同様に上流工程から下流工程までの一連のソフトウェア開発を体験頂きました。なお、インターンシップ目的は十分な成果が出せましたが、遠慮していることがあったため、もう1歩踏み込んだ行動を取ることで、もっと良い成果を出すように指導させて頂きました。
17	ひな形を与えて課題に適した変更を加えながらの開発を行ってもらいました。企業側も初の案件でしたので、朝ミで作業確認を行い、Try & Errorの繰り返しで結果を出していきました。もう少し、大きな声で会話できると良いという事は指導させて頂きました。
18	指導員アサイン、定期的なMTGの実施
19	担当で抱えていた課題(ツール作成)に対し、「課題背景」・「作成するツールの仕様」を当方から説明し、2年目社員の隣で製造・単体試験(試験項目作成・試験・試験結果レビュー)を実施して頂きました。夕方に当方有識者の時間を確保し、不明点の解消に努めてもらいました。

20	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発の工程プロセス ・システム開発の業務内容(プログラミング/プログラム試験/システム環境構築)
21	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンソースを活用した製品・サービス開発プロセスの実践 ・ソースリーディングおよびテストスキルの獲得
22	<ul style="list-style-type: none"> ・各カリキュラムにおいて、それぞれ指導員を配置。 ・指導員とは別に、インターン全体の相談窓口としての人員も設置。 ・最終プレゼンにて、良い点、要改善点をアドバイス。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケア分野のシステムに関する業務知識・ソフトウェア開発手法 ・クラウドにおけるサービス開発手法
24	開発案件の一部機能の実装・テスト・機能改善提案を担当いただいた。IT技術に関するプレゼンテーションを聴講してもらった等、開発に関する技術を高められる講義も用意した。また、開発時の動きを振り返るために個別に業務アドバイザーを配置し、日次で自らの問題改善に取り組んでもらった。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・各カリキュラムにおいて、それぞれ指導員を配置。 ・指導員とは別に、インターン全体の相談窓口としての人員も設置。 ・最終プレゼンにて、良い点、要改善点をアドバイス。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・不明点があれば、すぐに質問することが出来る環境づくり ・報告方法の指導、開発中のアドバイスを実施
27	<ul style="list-style-type: none"> ・設計・構築・運用・保守業務を通じたシステム全般のスキル ・業務に必要な報告書の作成方法
28	<ul style="list-style-type: none"> ・各カリキュラムにおいて、それぞれ指導員を配置。 ・指導員とは別に、インターン全体の相談窓口としての人員も設置。 ・最終プレゼンにて、良い点、要改善点をアドバイス。
29	<ul style="list-style-type: none"> ・開発の進め方や開発スキル ・開発者とのディスカッションを通じた、製品企画や開発の考え方等
30	<ul style="list-style-type: none"> ・初日から数日間は、「インターンシップ概要」として、当部門の方針や、社会人としてのモラル等を認識させ、今後の行動について自主的に行動する姿勢を持つよう促した ・基本的に毎日朝会・夕会を実施し、進捗確認の方法と学生のスケジュールに関する意識向上を図った ・毎週月曜には週報を提出させ、セルフレビューと指導員レビューで、ドキュメント(成果物)に関するレビューの重要性と品質に関する意識づけを行った ・現場改善活動、プロジェクトマネジメント についても専門の部門の方に依頼して講義して頂いた
31	<ul style="list-style-type: none"> ・画像処理の精度や処理性能 ・実際の画像の内容や、現場のニーズについての知見
32	日々の業務遂行をアドバイスする職場先輩をアサインすると共に、技術的な知見の深い年長の職場先輩も脇に付ける事で、仕事の進め方を教えると共に技術開発を推進する事の両面を指導。 また終了報告を実施し、適切な報告の仕方を学ぶと共に今後に向けた実施事項なども指導。
33	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバー、ストレージ、ネットワークの仮想化技術の概要と、最新クラウド技術の理解 ・企業におけるソフトウェア開発プロセスの実践、報告書作成、品質確保の取り組みなどの業務経験 ・複数人で行うチームでの協調設計・開発作業経験
34	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア開発プロセスの実践 ・設計書、評価・分析報告書の作成
35	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアプログラミング ・KPT ・バーンダウンチャート ・アジャイルインスペクション ・かんばん